

かがみやき

Vol. **37**
2023.10.25
発行

豊岡市・豊岡市人権教育推進協議会

すべての人が、人権侵害を受けることなく、生涯を通じて健やかに暮らすことができる
まちにするため、人権教育や啓発を進めていきます。

(豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例より)



府中小3年 梶谷 柚月



神美小2年 松島 妃穂



日高西中2年 菊岡 澄海



豊岡南中1年 長田 彩芭



五荘小6年 谷口 さくら



日高東中3年 谷垣 優衣

目次

人権作品 (標語・ポスター・こころの詩)の審査結果	1～4ページ
2023年度人権啓発事業・人権週間のお知らせ	5ページ
「市民ふれあいのつどいパート1 映画鑑賞会 &アフタートーク」の開催報告	6～7ページ
「市民ふれあいのつどいパート2 (講演会)」 のお知らせ	8ページ

2023年度人権標語・ポスター・ こころの詩の審査結果

人権について考え、人権意識を高めるため、人権標語・ポスター・こころの詩を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。入賞作品と入選者を本誌で紹介いたします。今後、人権啓発のために、入賞作品を市内各地で展示していきます。（期間と場所は、4頁をご覧ください。）

●標語：小学生の部		●標語：中学生の部		●標語：高校・PTA・一般の部	
最優秀賞	3	最優秀賞	3	最優秀賞	2
優秀賞	6	優秀賞	6	優秀賞	4
入選	9	入選	9	入選	6
応募総数	2,069	応募総数	1,865	応募総数	1,174

●ポスター：小学生の部		●ポスター：中学生の部	
最優秀賞	3	最優秀賞	3
優秀賞	6	優秀賞	6
入選	9	入選	9
応募総数	226	応募総数	222

●こころの詩：小学生の部		●こころの詩：中学生の部	
最優秀賞	1	最優秀賞	1
入選	3	入選	3
応募総数	111	応募総数	424



..... 人権こころの詩^{うた} 最優秀賞

小学生の部

府中小5年
西田 ちな

生きる力

終わらない戦争
なくならない虐待
貧困 差別 暴力 いじめ
苦しい状況にいる子は
何を思っているのだろう
どれだけ不安で悲しいだろう
子供でいられる間くらい
平等に幸せならいいのに
学校で勉強することも
一緒に給食を食べることも
きっと特別で大事なことも
頭をなでてもらうことも
だきしめてもらうことも必要
心の土台が作れたら
自分の力で生きていけるから

中学生の部

竹野中3年
加藤 唯愛

君はすごいんだよ

勉強が出来ないという君
運動が出来ないという君
だから何？
誰よりも努力しようと頑張る君
誰よりも周りのことを考えようとする君
君はすごいんだよ

こころの詩^{うた} 入選者

○小学生の部
大森 夏詩（竹野小2年）
保田 宗史朗（五荘小1年）
瀬尾 道心（小坂小5年）

○中学生の部
橋本 優楽（出石中2年）
清水 徹大（豊岡北中3年）
岩井 真莉香（竹野中3年）



人権標語 最優秀賞・優秀賞

最優秀賞

小学生の部

ないてる子 ささえてあげる ぼくになる

弘道小2年 家元 晟助

これ男 これは女と 決めないで

日高小3年 谷垣 玲衣

ありますか 断る勇氣 まけない心

竹野小6年 三石 結愛

中学生の部

認め合う たがいの個性 明るい未来

豊岡北中1年 裏戸 彩里

認めよう 自分と違う 多様性

出石中2年 松岡 亮歩

守りたい あなたの笑顔と その居場所

出石中3年 増田 優

高校・PTA・一般の部

「普通」とは 一人ひとり ちがうもの

豊岡総合高3年 山盛 妃香

スマホより 子供を見よう 親として

弘道小PTA 大森 順子

優秀賞

小学生の部

たすけあい してもされても うれしいな

三江小1年 久保田 光

ぼくはママのたからもの みんなもたからもの

田鶴野小1年 松村 怜音

友達と 大きく育てる 笑顔の輪

八条小4年 川合かのん

広げよう 元気がえがおで つながる輪

中筋小4年 長谷川怜星

知らんぷり している自分に さよつなら

小野小6年 川中 夢粋

多様性 ひとりひとりが 主人公

小坂小6年 吉田満里亜

中学生の部

見てるなら あなたもいじめの 傍観者

竹野中1年 神原 心音

多様性 認め合うほど つながる輪

近大附属中1年 向井 希

違いはね あなただけの 個性だよ

但東中2年 福田 彩夏

気付いている? 言葉は怖い 武器になる

日高西中2年 山根 睦也

考えよう あなたの言葉の 持つ力

日高西中3年 椿原 仁

それぞれが 個性をいかせる 未来へと

出石中3年 西谷 星菜

高校・PTA・一般の部

多様性 自分らしさを 認め合う

豊岡総合高3年 松森 優渚

違っている 十人十色で 描く未来

豊岡高(定時制)3年 岩本 侑海

君たちの 自分が好きを のびしたい

港小PTA 早川 真実

してますか? モラルとマナーの 更新を

小坂小PTA 船木 香織

人権標語入選者

小学生の部

- 荒田 泰良(神美小2年)
- 藤原 奈央(八条小1年)
- 佐崎 鈴(五荘小2年)
- 野口 楓夏(資母小4年)
- 中城 唯奈(小坂小4年)
- 足立 奏登(日高小3年)
- 松原 咲菜(田鶴野小5年)
- 新藤 愛弓(資母小6年)
- 山根 和也(三方小6年)

中学生の部

- 森垣かえで(出石中1年)
- 谷垣 雄都(城崎中1年)
- 安達 泰洋(近大附属中1年)
- 小谷英理奈(豊岡南中2年)
- 松岡 音瑠(豊岡南中2年)
- 羽瀨 琥珀(城崎中2年)
- 谷口 真帆(日高西中3年)
- 池上 瑠那(豊岡南中3年)
- 豊田 朱凜(豊岡北中3年)

高校・PTA・一般の部

- 橋本 咲楽(豊岡総合高1年)
- 藤本 秀羽(近大附属高2年)
- 宮下 彩生(近大附属高3年)
- 松下 貴俊(竹野小PTA)
- 久保田理美(三江小PTA)
- 中川 真澄(日高西中PTA)

.....人権ポスター 優秀賞.....



神美小1年 本田 大翔



豊岡小2年 田中 優羽



日高小3年 塚口 心晴



日高小4年 林 すみれ



日高小5年 柿本 彩衣



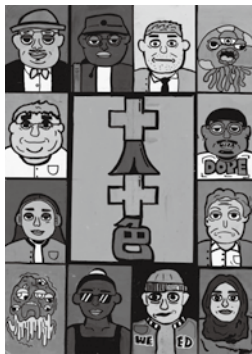
田鶴野小6年 尾畑 良舞



豊岡南中1年 田中 柚葵



港中1年 脊戸 心花



豊岡南中2年 堀原 翔斗



日高西中2年 西村 奏南



出石中3年 宮下 廣佳



豊岡北中3年 北出 和泉

人権標語・ポスター・こころの詩の最優秀・優秀作品を市内各地で展示します

期間	場所
2023年11月1日(水)～11月7日(火)	城崎庁舎1階 集会室
2023年11月20日(月)～11月24日(金)	日高庁舎1階 ロビーホール
2023年12月3日(日)	アイティ7階 市民プラザ
2023年12月5日(火)～12月10日(日)	コープデイズ豊岡 ウェルカムコート
2024年1月5日(金)～1月11日(木)	竹野庁舎1階 ロビー
2024年1月16日(火)～1月22日(月)	但東庁舎1階 通路
2024年1月27日(土)	アイティ7階 市民プラザ
2024年2月1日(木)～2月8日(木)	出石庁舎1階 市民ギャラリー

人権ポスター入選者

○小学生の部

種田 彩色(弘道小2年)
 加藤 琉愛(竹野小2年)
 福井 花音(豊岡小2年)
 北野 咲里(城崎小3年)
 多賀 知聖(八条小3年)
 山崎 彩羽(神美小3年)
 伊藤 葉那(竹野小6年)
 竹中 優花(府中小5年)
 平野 千尋(城崎小6年)

○中学生の部

沼田 楓(豊岡北中1年)
 田路えみる(日高西中1年)
 清水 結以(港中1年)
 柴原 一花(出石中2年)
 藤室 柚希(豊岡北中2年)
 田原 由愛(日高西中2年)
 小西帆乃夏(但東中3年)
 菊池 紗音(竹野中3年)
 竹中 真麻(日高東中3年)

大切にしたい みんなの人権

豊岡市人権教育推進協議会・各支部主催 2023年度人権啓発事業

どなたでも参加いただける講演会などの事業です。ぜひご参加ください。
詳細は各問合せ先へおたずねください。

※下記事業を対象としたスタンプラリーを実施しています。詳細はHPをご確認ください。



日時・会場	内容	講師	問合せ先
10月27日(金) 13:25~14:40 城崎中学校	ふれあいコンサートin城崎 音楽コンサートと人権トーク	全盲のピアニスト 清水 紘子 さん	城崎振興局 地域振興課 Tel 21-9065
11月16日(木) 13:20~14:50 竹野小学校	竹野人権学習のつどい 「天に一番近い大地チベットからのお話 -私はなぜ学ぶのか-」	チベット声楽家 バイマーヤンジン さん	竹野振興局 地域振興課 Tel 47-1111
11月21日(火) 19:00~21:00 日高文化体育館	日高ふれあいのつどい人権講演会 「インターネットに潜む危険」	NIT情報技術推進 ネットワーク株式会社 取締役 嶋田 亜紀 さん	日高振興局 地域振興課 Tel 21-9052
12月3日(日) 14:00~15:40 豊岡市民プラザ	市民ふれあいのつどい パート2 「わかりあえないことから」 →詳細は8ページをご覧ください	芸術文化観光専門職大学学長 劇作家・演出家 平田 オリザ さん	地域づくり課 Tel 23-0341
1月27日(土) 13:30~15:00 豊岡市民プラザ	人権 音楽とお話のつどい 「命の参観日 -他者を理解し、ちがいを認め合おう-」	シンガー・ソングライター 玉城 ちはる さん	地域づくり課 Tel 23-0341
3月2日(土) 13:00~15:00 出石多目的ホール	人権教育講演会	弁護士 宮下 萌 さん	出石振興局 地域振興課 Tel 21-9025

12月4日~10日は人権週間です

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合は「世界人権宣言」を採択しました。
法務省の人権擁護機関では、人権デー(12月10日)を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

豊岡市でも人権週間にあわせて、毎年「市民ふれあいのつどい」を開催しています。(8ページ参照)



人KEN まる君・
人KEN あゆみちゃん

『「誰か」のこと じゃない。』をテーマとしたショートストーリーが
法務省のホームページに公開されています。ぜひご覧ください。

→ https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00233.html

(出典:法務省ホームページ <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03.html>)



人権啓発誌「かがやき」第37号

発行/豊岡市・豊岡市人権教育推進協議会

問合せ/豊岡市地域づくり課 〒668-8666 豊岡市中央町2-4 電話0796-23-0341 FAX0796-23-0915

上映作品『バースデイ』について

『バースデイ』では、アウトティングと、家族によるホモフォビア（同性愛嫌悪）が扱われていました。

「アウトティング」は、ある人の性のあり方について、本人の同意なく他人に広めることです。一橋大学で大学院生が、アウトティングの結果、飛び降りて亡くなったという大きな事件がありました。アウトティングは人の命に関わるのです。

家族は、性的マイノリティにとって非常に厄介で、最初にホモフォビアに出会う場です。本作は、そういう側面をよく捉えていると思います。家庭は、「男の子なんだからしっかりしなさい」「お姉ちゃんなんだからお手伝いしなさい」など色々な形でジェンダーセクシャリティを教え込まれる場になっています。人生で最初に、家族から自分の存在を否定され、差別的に扱われ、抑圧され、酷い時は排除されます。家を追い出されて、ホームレスになる話はたくさんあります。

関係性が近い程ホモフォビアが強く出るのは、性的マイノリティに関する2015・2019年の全国調査を見ると分かります。年代が若いと嫌悪感を持つ人が少なく、年齢が上がると増えていきます。若い世代でも他人がマイノリティだと嫌悪感を持つ人は1割から2割ですが、自分の子どもだと問われると、4～5割に跳ね上がります。

家族関係が近いほど嫌悪感が強く出た結果には衝撃を受けました。

上映作品『トランスジェンダーとハリウッド：過去、現在、そして』について

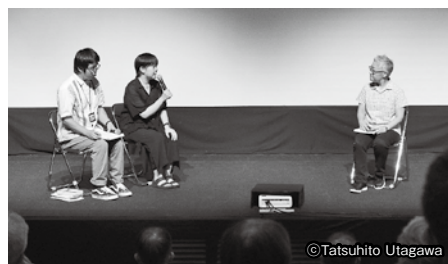
本作では、シスジェンダーがトランスジェンダーを演じる問題が取り上げられています。日本でも、トランスジェンダー当事者が演じる映画が少しずつ増えてきましたが、名前の知れたシスジェンダーの俳優さんが演じるの方がまだ多いです。映画は、演技だから当事者じゃなくてもいいのではとよく聞かれます。今日の映画『トランスジェンダーとハリウッド』を観て有名なシスジェンダーの俳優がトランスジェンダー役を演じるデメリットはすごく大きいと改めて気づかされました。シスジェンダーの人が演じて、元に戻って、やはりトランスジェンダーは本物じゃない、女装・男装みたいな印象を与えてしまうからです。

トランスジェンダーの人たちを見て真似したり笑ったりするのは、自然にやっている訳ではなく、メディアからの影響や社会的に身につけることです。メディアのイメージが全てではないけれど、やはり社会と非常に深くかかわっています。イメージを変えることは、社会を変える一歩になるし、社会が変わるとイメージも変わります。

私たちのできること

性の多様性を大切にするには、シンプルなことを考えるのが大切だと思います。人を安易にカテゴライズせず、正しい知識を得て、良いか悪いかを自分で考えて判断するしかありません。鵜呑みにせず、長いものに巻かれないというあたり前のことをするという事です。

性的マイノリティが、周りにいるということを常に考えることも必要です。私は、必ず性的マイノリティがいるという前提で話をしています。それが10人に1人いるから大事なのではなくて、人権の考え方でいったら100万人に1人でもそれは大事だという風に考えるべきです。性の多様性を考えることは、究極的には社会の多様性を考えることにつながります。



(右から) 講師の菅野 優香さん、代表質問者 劇団時々の木下 葵さん、豊岡映画センターの杉本 悠さん

イベントを終えて

兒島 源之 さん(豊岡市人権教育推進協議会副会長)

アフタートークは、初めての試みでした。LGBTQと一言で言っても本当に今まで知らなかったこと、気がつかなかったことがたくさんありました。2つの映画を見せていただいて、菅野先生の話をお聞きして、今日の講演が完結したと思っております。今日お聞きしましたことを今後の豊岡市の人権教育、啓発活動にぜひ生かしていきたいと思っています。

アンケートに寄せられた感想

- 性的マイノリティは自分の身近にいないのではなく、見えていないだけということや、自分の「普通」を周囲に押しつけることで、無意識のうちに人を傷つけることもあることがよく分かる内容だった。
- とても分かりやすい内容だった。カテゴライズするのではなく、その人を見ることを大切にしたい。
- まず正しい知識を得ることが大事だと思った。少し他人事のことと思っていました。
- バースデイと、トランスジェンダーとハリウッド、菅野先生の話、多くの学びがありました。大変良かったです。ありのままの自分を大切にできる社会でありたいと思います。

豊岡映画センターの歌川達人さんと杉本悠さん(豊岡地域おこし協力隊)より寄稿いただきました。

映画を通じて多様性を受け入れ 変わっていくことの大切さを語る

8月26日、豊岡市民プラザで「市民ふれあいのつどいパート1 映画鑑賞会&アフタートーク」を開催しました。この上映会は、人権について考える機会を創出し、人権尊重の意識を広げて、一人一人を尊重するまちづくりを進めることを目的としています。

今回の上映会では、「性の多様性」をテーマに2つの映画を上映し、アフタートークではクシアシネマがご専門の菅野優香さん（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）に登壇いただきました。

「映画から考える性の多様性」と題し、映画を通してみえた課題を掘り下げて講話いただいた後、木下菜さん（劇団時々）と杉本悠さん（豊岡映画センター）にも参加していただきました。お二人や会場から菅野先生に質問があり、性の多様性と人権について、参加した皆さんが考えを深められるつどいとなりました。

上映作品

『バースデイ』（公財）兵庫県人権啓発協会

性的少数者の存在や悩みに気づき、その多様性を認め、互いの人権を尊重することですべての人が自分らしく生きられる社会の実現を目指す物語。

『トランスジェンダーとハリウッド：過去、現在、そして』Netflixオリジナル

トランスジェンダーがハリウッドでいかに描かれてきたかを、彼らを代表するオピニオンリーダーやクリエイターらが分析し、それぞれの思いを語るドキュメンタリー。

アフタートーク：講師 菅野 優香さん

性の多様性とは

日本語の「性」は、曖昧な言葉です。英語でジェンダーとセクシュアリティという2つの要素を含めた日本語を「性」と考えてください。ジェンダー研究をする立場から「ジェンダー」というのは、社会的・文化的に作られた性別と言えます。研究者は、「男らしい・女らしい」を社会の中で学びながら、女になっていたり、男になっていくと考えます。

今日の映画に共通するテーマは、「ジェンダーアイデンティティ」と「トランスジェンダー」です。前者は自分の性別についてどう認識・理解しているかを指し、後者は出生時に割り当てられた性別ではない性別にアイデンティティを持つ人です。私たちは生まれた時に、自分で性別を選んでいません。性別というのは、病院や家で「男の子ですね・女の子ですね」という風に、他人に割り当てられてきました。トランスジェンダーの定義は、この割り当てられた性別と、後に自分の感じる性別が一致しないことです。

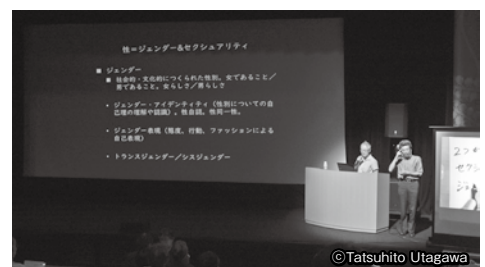
日本語でよく使う「性同一性障害」とトランスジェンダーは、重なる部分もありますがイコールではありません。トランスジェンダーの対義語として、「シスジェンダー」という言葉があります。出生時に割り当てられた性別とジェンダーアイデンティティが合致している人です。トランスジェンダーは、基本的にアイ

デンティティを指す言葉です。

性同一性障害というのはアイデンティティではなく、医療カテゴリーとしての疾患名・診断名あるいは法律用語です。2013年にはアメリカ精神医学会の診断マニュアルから削除され、現在は「性別違和」（ジェンダーディスフォリア）という言葉が用いられ、WHOでは「性別不合」が使われています。

日本では、戸籍上の性別を変更できます。「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」（通称「特例法」）という法律です。問題が多く、特にトランスジェンダーのコミュニティから多くの批判があります。特例法では、性別変更には5つの要件<①18歳以上、②婚姻をしていない、③未成年の子がいない、④生殖腺がない又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にある、⑤他の性別の性器に近似する外観を備えている>が必要です。

私たちの権利は一人一人が持つもので、他人に制約されないことが大前提です。子どもの有無が権利の条件になることは、人権の観点からあってはならない要件だと言えます。それは世界的なスタンダードであり、日本の特例法は大きな問題をかかえています。



講師の菅野 優香さん

講演会

「わかりあえないことから」

価値観が多様化する社会で、子どもたちの人権感覚を育むために必要なことについて考えます。

事前申込必要

定員 **120**人

入場無料



講師 平田 オリザ さん

芸術文化観光専門職大学学長、劇作家・演出家
劇団青年団主宰、江原河畔劇場芸術総監督

1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。

著書『わかりあえないことから』『演劇入門』『演技と演出』『下り坂をそろそろと下る』(以上、講談社現代新書)『芸術立国論』(集英社新書)、『ともに生きるための演劇』(NHK出版)、『名著入門 日本近代文学50選』(朝日新書)、『新しい広場をつくる』(岩波書店)など。

手話通訳あり

要約筆記あり

一時保育あり

日時

2023年 **12月3日(日)**

開場13:45

14:00~15:40

※13:00~13:45までは人権作品(標語、ポスター、こころの詩、作文)の最優秀賞受賞者表彰式を行います。

表彰関係者のみ

会場

豊岡市民プラザ
ほっとステージ(アイティ7階)

申込方法

市ホームページの申込フォームからお申し込みください。
(電話申込可 TEL 23-0341)

URL <https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/shogaisports/1005794/1019454/1027706.html>



市ホームページ

- 豊岡市営豊岡駅前駐車場を利用した方は無料券をお渡しします。駐車券を市民プラザ総合事務室に提示してください。
- 一時保育(1歳から就学前まで)を希望する方は、11月21日(火)までに地域づくり課にお申し込みください。

主催 : 豊岡市 豊岡市教育委員会 豊岡市人権教育推進協議会 豊岡市PTA連合会
後援 : 豊岡市子どもと心でつながる市民運動推進協議会
問合せ先 : 豊岡市地域づくり課 TEL 0796-23-0341 FAX 0796-23-0915
E-mail chiikizukuri@city.toyooka.lg.jp